

接着系アンカー(無機系・回転打撃型・チューブ式)

認証取得者 所在地 連絡先	株式会社 ケー・エフ・シー 〒530-0047 大阪市北区西天満3-2-17 Tel:06-6363-4126 Fax:06-6363-3128	
商品名	エスアールタイト	
接着剤の材質	プレミックス特殊セメントモルタル	
認証種類	タイプ B	
認証番号	第21-0011号	
認証有効期間	2021年12月2日~2026年12月1日	

認証内容

構成部品	項目1	カプセル容器	材質	紙										
			形状	別添資料による。										
			寸法・許容差	別添資料による。										
	項目2	接着剤関連	材質	主材   プレミックス特殊セメントモルタル   硬化材   水   骨材   珪砂7号										
			強度	$\tau_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm <sup>2</sup> ) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] $\tau_{fu}$ : 付着強度計算値 (N/mm <sup>2</sup> )、 $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )										
	項目3		物性	<table border="1"> <tr> <td>圧縮強さ</td> <td>29.4N/mm<sup>2</sup> 以上</td> <td>引張り強さ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ</td> <td>4.9N/mm<sup>2</sup> 以上</td> <td>圧縮弾性係数</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐アルカリ性</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	圧縮強さ	29.4N/mm <sup>2</sup> 以上	引張り強さ	—	曲げ強さ	4.9N/mm <sup>2</sup> 以上	圧縮弾性係数	—	耐アルカリ性	—
圧縮強さ	29.4N/mm <sup>2</sup> 以上	引張り強さ	—											
曲げ強さ	4.9N/mm <sup>2</sup> 以上	圧縮弾性係数	—											
耐アルカリ性	—													
項目4	アンカー筋関連	種類	異形棒鋼: D13~D25 (JIS G3112 鉄筋コンクリート用棒鋼) 別添資料による。											
		先端形状	先端斜めカット											
		外観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着を阻害するものがないこと。 2) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。											
項目5		材質	異形棒鋼: SD345 (JIS G3112 鉄筋コンクリート用棒鋼) 別添資料による。											
		表面処理	無し。											
項目6		強度	降伏点・引張り強さ・伸び率   別添資料による。											
		ねじ等級	該当無し。											
製品	項目7	ドリル径と許容差	別添資料による。											
	項目8	穿孔深さと許容差	別添資料による。											
	項目9	母材の種別	普通コンクリート											
	項目10	設計基準強度の範囲	18 N/mm <sup>2</sup> 以上、36 N/mm <sup>2</sup> 以下											
	項目11	環境条件(固着後)	外気温-5°C以上、80°C以下とする。											
	項目12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式(1)から式(3)に対して95%以上の信頼性を有している。 $T_{oc} = 0.23\sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式(1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell_e$ …式(2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_o$ …式(3) 「記号」 $T_{oc}$ : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $A_c$ : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm <sup>2</sup> ) (= $\pi \cdot \ell_e (\ell_e + d_a)$ ) $T_{cb}$ : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\tau_a$ : 付着強度 (N/mm <sup>2</sup> ) で、次式による。(= $10\sqrt{\sigma_B/21}$ ) $\ell_e$ : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$ ) $L$ : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 $d_a$ : アンカー筋の外径 (mm) $T_{tu}$ : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm <sup>2</sup> ) (= $1.1\sigma_y$ ) $\sigma_y$ : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm <sup>2</sup> ) $a_o$ : アンカー筋の最小断面積 (mm <sup>2</sup> )											
	項目13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min. \{2/3 \cdot T_{my}, 0.4 T_{oc}, 0.4 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、0.3 mm 以下 $\min. \{T_{my}, 0.6 T_{oc}, 0.6 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、1.0 mm 以下 [記号] $T_{my}$ : アンカー筋の降伏引張耐力 (= $\sigma_y \cdot a_o$ )											
	項目14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_B \cdot s \cdot a_o}$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm <sup>2</sup> ) $Q_{tu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_o$ [記号] $Q_{mc}$ : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) $E_c$ : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm <sup>2</sup> ) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $s \cdot a_o$ : アンカー筋の最小断面積 (mm <sup>2</sup> ) $Q_{tu}$ : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm <sup>2</sup> )											
	項目15	せん断剛性	$0.6 Q_{mc}$ 時又は $0.6 Q_{tu}$ 時における水平変位量が5mm以下又は $0.3d$ ( $d$ : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。											

[注] 項目1~15は、評価認証審査項目を示す。

接着系アンカー(無機系・回転打撃型・チューブ式)

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 [mm]	カプセル長 [mm]	内容量 [g]	アンカー筋	ドリル径[mm]		穿孔深さ[mm]	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
SR-13	13 ±1	110±5	26.0 - 0.0 +2.6	D13	16.0	-0.0 +0.2	130.0	-0.0 +6.5
SR-16	16 ±1	120±5	38.0 - 0.0 +3.8	D16	20.0	-0.0 +0.2	160.0	-0.0 +8.0
SR-19	19±1	150±5	70.0 - 0.0 +7.0	D19	24.0	-0.0 +0.2	190.0	-0.0 +9.5
SR-22	22±1	170±5	110.0 - 0.0 +11.0	D22	28.0	-0.0 +0.2	220.0	-0.0 +11.0
SR-25	25±1	240±5	200.0 - 0.0 +20.0	D25	32.0	-0.0 +0.2	250.0	-0.0 +12.5

項目5【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	規格降伏点 N/mm <sup>2</sup>		伸び率 %	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16~40	D25 未満	D25 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上	20 以上

2. アンカー筋の適用範囲

種類	製品仕様		試験に用いた仕様	
	材質	サイズ	材質	サイズ
異形棒鋼	SD345	D13~D25	SD345	D13~D25

項目7 項目8【ドリル径と許容差、穿孔深さと許容差】

品番	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
	寸法	許容差	寸法	許容差
SR-13	16.0	-0.0 +0.2	130.0	-0.0 +6.5
SR-16	20.0	-0.0 +0.2	160.0	-0.0 +8.0
SR-19	24.0	-0.0 +0.2	190.0	-0.0 +9.5
SR-22	28.0	-0.0 +0.2	220.0	-0.0 +11.0
SR-25	32.0	-0.0 +0.2	250.0	-0.0 +12.5